

追加資料①

「審議1 阿南市行財政集中改革プランの進捗状況について」関係 事前質問・意見

番号	委員名	該当箇所	質問・意見の内容	答弁担当所属
1	尾崎委員	全般	<p>要望として、歳出削減や市税以外の歳入（ふるさと納税や指定管理者制度、ネーミングライツ制度の導入）で捻出した財源を、今後の税収を増やすための施策に大胆にまわしていくことを今後ご検討いただければと思います。</p> <p>短期集中プランの最終のゴールは、あくまでも総合計画の実現にあると思いますので、移住や観光の促進、起業支援、地域サービスの向上など施策は様々ありますが、これら税収を増やすための取組に、どれだけの財源を充てるかが重要なポイントであると考えます。経費削減を軽視するものではございませんが、自治体の規模や得たい成果（目標、KPIなど）によって、相応の財源を全体のバランスを考慮した上で分配し、さらなる財源の獲得につながるような好循環をつくっていただければと思います。</p>	行革デジタル戦略課
2	片山委員	業務の簡素化・効率化による職員数の削減（1ページ）	組織の見直しや業務の簡素化・効率化等→具体的な取組内容を教えてください。	行革デジタル戦略課
3			会計年度任用職員数を削減し→下記の職員数は正規職員数ですね。具体的に削減状況と再雇用職員の人数はどうなっていますか。	人事課
4			時間外勤務手当を縮減し→R3年度 時間外が多い課 上位5位と時間数を教えてください。R1年度からの縮減状況はどうなっていますか。効果額は特殊要因を除いた額ですか。	人事課
5			民間保育施設の誘致（7ページ）	民間保育施設の誘致は保育士不足に対応できると思われま。保育士不足に対応するためにも、民間できる施設内の清掃、トイレ掃除など民間委託をすれば、保育士の負担を軽減できると思います。
6		その他	市民に対しての「見える化」も重要であるが、職員が持っている業務や知識、情報が他の職員にもわかるように「見える化」することも重要であると思います。職員の業務のマニュアルはありますか。	行革デジタル戦略課
7	炭谷委員	業務の簡素化・効率化による職員数の削減（1ページ）	定年引上げを見据え新規職員採用を抑制するのは当然であります。定年延長に伴い正職員の給与体系・退職金制度の見直しは検討しているのでしょうか。一般では一定年齢からの昇給をストップあるいは減額する制度を導入する企業もあります。	人事課
8			再任用短時間制度の導入による人件費増加を。会計年度任用職員数の削減で抑制するとあるが、年度任用職員には雇用を繰り返し行い、生活の糧としている職員も多くいるのではないのでしょうか。そういった任用職員の雇用をどう考えていますか。組織の見直しや業務の簡素化・効率化によって削減するのは、任用職員数ではなく、正職員そのものだと思います。	人事課
9			業務の簡素化・効率化は当然ですが、組織の見直しとは具体的にどのような部門・項目を検討しているのでしょうか。	行革デジタル戦略課
10	玉岡委員	業務の簡素化・効率化による職員数の削減（1ページ）	職員の年齢構成・バランス（若手・中堅）についての現状や今後の見通しについて伺いたい。	人事課
11		外部資金の活用による特定財源の確保（5ページ）	クラウドファンディング活用事例（あれば）や予定について伺いたい。	財政課

12	木岡委員	業務の簡素化・効率化による職員数の削減 (1ページ)	職員数の削減目標値が設定されていないので、評価は困難。 財政関係の付属資料と同様、「H28からの職員数の推移」を示してほしい。	人事課
13			職員数の適正基準は外部からは分かりにくいので、県内他市との比較が一つの判断材料とならざるを得ない。 「職員数(R4.4.1)の人口(R2国調比)」について、本市と県内他市を比較して説明してほしい。	人事課
14			職員数は、前年度の様々な取組の結果と考えられるため、令和3年度実績は、R4.4.1時点の職員数で整理する方が分かりやすい。 令和4年度の取組は、R5.4.1時点の目標職員数を示してほしい。	人事課
15		シーリングの試行的導入 (3ページ)	関係部局の納得感がなければ、持続可能な仕組とはなりづらい。 道路等事業の選定理由、削減率の考え方について示してほしい。	財政課
16			令和4年度の取組にある「実質公債費比率をシミュレートした指標を参考にする」とは具体的にはどういうことか。 実質公債費比率について、R2決算、R3決算(見込み)の数値を説明してほしい。 また、県内他市と比較するとどうなのか。	財政課
17		未利用不動産の売却・貸付 (8ページ)	トライアル・サウンディング事業は、暫定利用を前提として、公共施設等の持つ可能性を民間事業者と一緒に探るものであり、目指すべき目標があつての調査事業(手段)と理解している。 令和4年度の取組について、目指すべき目標はどのように考えているのか。	行革デジタル戦略課

「審議2 阿南市行財政集中改革プランにおける重点取組項目の追加について」関係 事前質問・意見

番号	委員名	該当箇所	質問・意見の内容	答弁担当所属
18	原委員	学校給食調理業務の民間委託 (14ページ)	学校給食調理業務の民間委託・献立の作成や食材の購入について農家であり、保護者でもある方から聞きました。 ・魚など、冷凍食品を使っている。理由は形を揃えるためとのこと。 ・規格外の農作物が出たとき、給食センターに寄付しようと思ったが、機械で処理するので、規格外は使えないとのことだった。 ・阿南は海も山もあり、食育の環境には適しているのにもったいないと思う。 ・地産地消を大切に、誇れるような給食にできないのだろうか。 という話でした。 安全性を重視しているとのことですが、このような保護者からの要望は実際届いておりますでしょうか。 冷凍食材から阿南の良い食材を使う方向へ民間委託を機に考えていただけたらと思います。	学校給食課
19	木岡委員	職員採用試験制度の見直し (12ページ)	定年延長を考慮すると、受験年齢の引上げを検討する時期にきていると思うが、現行の行政事務職の年齢基準はどうなっているのか。	人事課
20		公共施設へのESCO事業の導入検討 (16ページ)	「〇〇の検討」は、プラン期間中の目標が明確でなく、評価が困難となるので、できるだけ避けてほしい。	行革デジタル戦略課
21		「阿南版事業仕分け」の進化について (該当箇所なし)	「事務事業評価システム構築事業」により、内部システムとして進化させていくとのことであるが、重点取組項目の1つとして追加しないのか。 単なる予算要求のためのシステムにとどまらず、「政策形成に向けた内部の風土づくり」や「意欲ある人材の育成」にもつながるようなシステムにしていく考えはあるか。 現在の取組状況はどうか。	行革デジタル戦略課

「審議3 その他」関係 事前質問・意見

番号	委員名	該当箇所	質問・意見の内容	答弁担当所属
22	木岡委員	付属資料	R3決算（見込み）の数値を説明してほしい。 ・一般会計歳入歳出決算 ・財政調整基金 ・実質単年度収支 ・市債年度末残高 ・主な一般財源	財政課
23		次期プランの策定に向けて （要望） （該当箇所なし）	【プラン策定の在り方について】 次期プランの策定に際しては、十分な準備期間を設け、懇話会の開催回数を増やすなど、議論の時間も十分にとり、進めてもらいたい。  【プランの内容について】 現在のプランは、組織全体としての意識改革、市民に対する説明責任（改革の見える化）という点で物足りなさを感じる。 「人と財源のあるべき水準についての幅広い議論」や「事務事業評価システムの進化型」に大いに期待している。	行革デジタル戦略課